



『生徒会憲章』の実現を図りながら、
生徒一人一人の自己肯定感を高め、3年計画で自立を促し、未来への志を育む



3年生(卒業生)ウイングラン!! ♪

3年生は、先日の21日(水)、22日(木)の両日に行われた埼玉県公立高等学校の受検(検査・実技・面接)を終了しました。これで、当初から予定されていた受験(検)日程は終了しました。合格発表日(入学許可候補者発表日)が3月1日(金)なので、それまでは不安もあるかと思いますが、受検者113名は今までの学習の成果を存分に発揮してくれてきたことと思います。あとは、「天命を待つ」といったところでしょうか。今日から3年生はいろいろな場面で「卒業生」と呼称されることとなります。校長面接でも話をさせていただきましたがこの並木地区(中央中学校区)で学んだ仲間たちとも残すところあと3週間となりました。3力年の教育課程はほぼ修了しました。残りの時間は卒業証書授与式に向けての準備とお互いの努力と協力を褒めたたえる時期(じかん)となります。オリンピックに例えると、表彰式までの間、日の丸を背負っての「ウイングラン」といったところでしょうか!?新たなステージで、それぞれの道を歩む147名の卒業生の皆さん、残された時間を大切に楽しんでください。(ただし、やるべきことはしっかりとね!)

さて、1、2年生の皆さん、あと3週間で3年生は卒業してしまいます。今までいろいろな場面でお世話になった先輩たちに成長した姿を示せると良いですね。取り急ぎ3年生を送る会です。どの学年も動き始めており、段々と「かたち」になってきています。まだ2週間ほど時間があります。「これなら中央中を任せることができる!!」と思えてもらえると良いですね。当日を楽しみにしています。

1. 主体性と自主性の違いは?

とある A 高校の野球部に新入部員が入部してきました。

顧問:「入部おめでとう。チームの一員になったから、チームに貢献してほしい。」 新入部員:「はい!」

顧問:「でも君たちは技術面でも体力面でも未熟だから、競技においてはまだ貢献できない。うちのチームは朝練習をやっているから30分前の6時半に来て、ボールを拭いたり、グラウンドを整備してスムーズに練習ができるようにすることでチームに貢献してほしい。」 新入部員:「わかりました。」

翌日から新入部員は6時半に来て準備をする。その次も準備をする。そしてその後、誰も言わなくても毎日朝練習30分前に来て準備をするようになる…これが「自主性」です。

とある B 高校のサッカー部に新入部員が入部してきました。

顧問:「入部おめでとう。チームの一員になったから、チームに貢献してほしい。」 新入部員:「はい!」

顧問:「では、今の君たちが、チームに貢献できることは何ですか。」

新入部員:「技術面でも体力面でも未熟なので、朝練習の準備をすることでチームに貢献します。」

翌日から新入部員は6時半に来て準備をする。その次も準備をする。そしてその後、誰も言わなくても毎日朝練習30分前に来て準備をするようになる。これが「主体性」です。

この違いは何でしょう?「やるべきことを決めたのは誰か」ということがこの会話のポイントです。自主性の例で

は、やるべきことを決めたのは顧問の先生でした。主体性の例ではやるべきことを新入部員が決めました。自主性と主体性の決定的な違いは「やるべきことを決めるのが自分か否か」という部分なのです。誰かの敷いたレールに乗り、与えられたものを誰に言われなくてもするのが自主性。今までなかったことを自ら考えてするのが主体性です。主体性のある人は自ら考えて行動する人といえます。

2. 主体性がある人の特徴

(1) 分からないことを理解しようとする

自分が分からない物事に直面したとき、それを理解しようと努力することができます。その物事に詳しい人に説明を求めたり自分で調べてみたりするなど、理解しようと積極的に活動する傾向がみられます。

(2) 行動力がある

主体性のある人は自分がやるべきことを発見すると、周りから指示される前に自ら行動することができます。

(3) 知的好奇心が旺盛で、自分に自信を持っている

何か気になることが身の回りで起きると進んで関わりを持ちたがります。知識が増えることに喜びを感じやすい傾向にあるようです。今までの決断して行動に移してきた経験と周りからの評価によって自分の能力を信じています。

3. 主体性を高めるために…

(1) 自分で考えて選択するクセをつけよう

日常的に自分の頭で考えて選択するクセをつけることが大切です。日頃から小さな選択を積み重ねていくことで達成感が得られます。その結果、自分の選択に自信を持てるようになるのです。例えば、「明日は大会があるから11時には寝よう。」などと状況を把握し自ら考えて選択するように心がけましょう。日常生活の中で意思決定の練習を行うことで「何でもよい」というような他人任せの判断を減らしていくことができます。また、自ら考えて決断できるようになると、人のせいにすることも減ります。

(2) 自らの考えや意見を周りに説明できるように練習しよう

まずは自分自身とよく向き合い、意見を整理・把握できるようにすることが求められます。意見の根拠を含めて周囲に分かりやすく説明できれば、スムーズな行動へと移せます。そのため、周りにうまく説明できるよう日頃から練習しておくことがおすすめです。具体的には、学級など多数の人がいる場で発言するなどの工夫をしてみると良いでしょう。こうした積み重ねによって根拠や理由を説明するスキルを磨くことができます。

(3) 目標達成までの期限を定めよう

主体性を身につけるためには目標とその達成期限を設定することも効果的です。たとえば、係や委員会であれば自身が担当する活動の主な目的を考え、その目的を達成するための目標を設定しましょう。そして、目的から期限を設定しスケジュールを逆算して考えていきます。こうした計画を立てて行動するという取り組みは、主体性を高めるための大きな一歩となるでしょう。

(4) 前向きな言葉を心掛けよう

日常生活の中で、できる限り前向きな言葉を使うように意識することがおすすめです。ネガティブだったり他人任せだったりする言葉を避けポジティブな言葉を心掛けると自然と意欲的になるものです。

(5) 周囲に気を配ろう

主体性を高めるためには周囲への気配りをすることが大切です。全体像が見えていないため自ら動くことがなく周りの指示をまってしまうこととなります。一方、主体性の高い人は、状況を見渡して適切に把握し行動に移すことができます。周りがどのような状況なのか、またそこにいる人が何を考えているのか、想像することがポイントです。こうした全体を見渡えるスキルが身につけば主体的な行動につながりやすくなります。

3月の行事予定	
1日 (金)	県公立高校入学許可候補者発表
8日 (金)	3年生を送る会
13日 (水)	卒業式予行
15日 (金)	第45回卒業証書授与式
18日 (月)	2年保護者会
19日 (火)	1年保護者会
22日 (金)	給食最終日
25日 (月)	大掃除
26日 (火)	修了式

一歩質の高いことが求められています